

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

＜阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点 K-3	○	○	○	○	○	○

＜阿武隈川河口沖K 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	R2.12.7	08:34	12.9	13.5	シルト混砂	5Y 3/2	貝殻片	20.9	6.5
K-3 (下層)				08:20							

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	R2.12.7	08:34	8.1	0.6	1.8	9.2	4830	32.28	1.0	1	1.1	N.D. (0.0013)	0.0031	—
K-3 (下層)				08:20	8.0	<0.5	1.3	9.2	5000	33.59	0.9	2	1.1	N.D. (0.0013)	0.0038	0.00077

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
調査地点 K-3	38.0458°	140.9518°	R2.12.7	08:50	7.8	261	32.6	4.1	5.5	2.702	—	0.1	0.7	46.0	40.1	13.1	0.070	2.0	6.0	130	N.D. (0.13)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	阿武隈川河口 前面海域	—	—	R2.12.6	軟体動物	二枚貝	マルマガリガイ	マガリガイ	<i>Pseudocardium sachalinense</i>	ウバガイ	2	0.22	成体	—	軟体部	N.D.	N.D. (0.33)	N.D. (0.30)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronectes herzensteini</i>	マガレイ	5	0.45	未成年	カ類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.26)	N.D. (0.25)	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	マール	<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ	1	0.59	成魚	不明消化物	内臓除去	0.50	N.D. (0.41)	0.50	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。